

## 参考書のご案内

★ 2級ボイラー技士免許試験は、「ボイラーの構造」10問、「ボイラーの取扱い」10問、「燃料及び燃焼」10問、「関係法令」10問 計40問出題され、400点満点で各科目の平均が60点以上(合計点数が240点以上)が合格となりますが、40点未満の科目が1科目でもあれば不合格となります。

### ◎『新版 最短合格 2級ボイラー技士試験』2,700円(本体2,500円+税)



ボイラー専門団体のノウハウが詰め込まれた、最短合格をめざす受験対策に特化した受験本の決定版です。過去の二級ボイラー技士免許試験で実際に出題された「構造」「取扱い」「燃料および燃焼」「関係法令」の各科目の公表問題を徹底的に分析し、オリジナルの多数のイラストを掲載し丁寧な解説をした一冊です。試験科目の「ボイラーの構造」「ボイラーの取扱い」「燃料及び燃焼」「関係法令」の全科目をカバーしています。

### ◎『2級ボイラー技士試験公表問題解答解説』平成30年版 2,160円(本体2,000円+税)



いわゆる「過去問」です。関東安全衛生技術センターでは、二級ボイラー技士免許試験が年17回程度行われ、前期(1~6月)実施回のうち任意の1回分、後期(7~12月)実施回のうち任意の1回分、計年2回分の試験問題を公表しています。この公表問題に解答とていねいな解説を付けたのが本書です。平成26年後期から平成29年前期までの6回分一冊にまとめた、従来の単問より大変お得な問題集です。

### ◎『新版 わかりやすいボイラー及び圧力容器安全規則』1,350円(本体1,250円+税)



試験科目のうち、「関係法令」をカバーし、難しい法令をわかりやすく解説しています。技術問題で良い点を取っても、法令問題で40点以上取れない場合、不合格になることを考えれば、法令の参考書は受験の必読書といえます。また、本書は一級ボイラー技士免許試験にも対応していますので、一冊で二度おいしい参考書です。

### -StepUp-ついでに1級免許にも挑戦しよう!

★ 1級ボイラー技士免許試験は2級と同程度の問題も出題されています。2級の勉強と併せて1級免許にも挑戦してみましょう。試験科目及び合格基準は2級と同じです。

### ◎『新版 1級ボイラー技士教本』3,024円(本体2,800円+税)



本書は試験科目の「構造」「取扱い」「燃料および燃焼」の技術科目の範囲に従って編纂し、技術科目の試験範囲を網羅していますので、一級ボイラー技士を目指す方の受験用テキストとして最適です。合格後も一級ボイラー技士必携の書としてお役にたつことでしょう。

### ◎『1級ボイラー技士試験公表問題解答解説』平成30年版 2,160円(本体2,000円+税)



1級の「過去問」です。関東安全衛生技術センターでは、一級ボイラー技士免許試験が年7回程度行われ、2級と同様、前期(1~6月)実施回のうち任意の1回分、後期(7~12月)実施回のうち任意の1回分、計年2回分の試験問題を公表しています。この公表問題に解答とていねいな解説を付けたのが本書です。平成26年後期から平成29年前期までの6回分を一冊にまとめた、従来の単問より大変お得な問題集です。

◆ 上記の参考書は東京支部事務室(2階)において販売しておりますのでご利用ください。◆

(一般社団法人日本ボイラ協会東京支部) <http://www.jba-tokyo.jp/tosho/index.html>